

講座と展示

男女共同参画 基本の〈き〉

IMF(国際通貨基金)から昨年10月に公表された緊急レポート「女性は日本を救えるか？」をはじめ、女性の活躍による経済の活性化が期待されています。一方、同じく10月に世界経済フォーラムから発表された男女平等(ジェンダー・ギャップ)指数によるランキングは135か国中101位と、2011年の98位よりもさらに後退し、女性議員の比率の低さ、経済分野での管理職への女性の参画の低さが指摘されています。

「男女共同参画社会基本法」(1999年公布・施行)の目的や理念を振り返り、「ひとりひとりが幸せな社会」について、今もう一度、考えてみませんか？

週間中、展示〈6月24日(月)～6月28日(金)午後5時〉と連続講座(全2回)を開催します。

<連続講座>

■1日目「101/135 なぜ101位？どうする101位？」

2013年6月23日(日)14:00～16:00

格差が広がる日本社会の現状をジェンダーの視点から政府統計などを読み解き、課題を認識し、男女共同参画の視点から社会の持続可能性を考えます。

■2日目「女性は日本を救えるか？」

2013年6月29日(土)14:00～16:00

「男女共同参画」の歩みを振り返り、「ひとりひとりが幸せな社会」の実現について展望します。

■講 師: 皆川 満寿美氏(大学非常勤講師、東京大学社会科学研究所特任研究員、
「東日本大震災女性支援ネットワーク」政策提言プロジェクト・アドバイザー)

■会 場: 男女平等推進センター会議室

■定 員: 各回とも24人(先着・要予約。但し、2回連続して受講できる方を優先)

■参加費: 無料

■申込み: 6月5日(水)～6月20日(木)

* 2歳～未就学児の保育あり(定員5名) 6月5日から6月13日(木)までに要予約

<展示>

■ 6月24日(月)～6月28日(金)午後5時まで

みながわ ますみ

皆川 満寿美氏 プロフィール

非常勤講師、東京大学社会科学研究所特任研究員。首都圏の大学複数でジェンダー系授業を担当する他、自治体や女性団体での講座経験も多い。共編著に『「ジェンダー」の危機を超える！ー徹底討論！バックラッシュ』(青弓社、2006年)、『復興を取り戻すー発信する東北の女たち』(岩波書店、2013年)。NPO法人女性の安全と健康のための支援教育センター「センター通信」にて、「ニュースをよみとく」を好評連載中。

* 申込み・問い合わせは、電話(472-0061)または直接、センターへ(火曜日休館)

